

CD-R用イメージ入力規準書（紙申請）

特 許 庁

2016.04.01

一業務仕様書目次一

1. 趣旨	1
2. 概要	1
3. 入力蓄積	1
4. 業務処理フロー	2
5. 工程別業務仕様	3
5. 1 書類区分入力	3
5. 2 イメージ入力・編集	3
5. 3 オーサリング	4
5. 4 CD-Rの作成	5
6. 発注	5
7. 納品	5
7. 1 ボリューム識別子（番号）の付与	5
7. 2 納品	6
8. 検収	6
9. 誤蓄積データの修正	6
10. その他	7

1. 趣旨

工業所有権に関する手続等の特例に関する法律及び関係法令の規定により提出された書類については、「書類及び磁気ディスク（フレキシブルディスク）の保存期間に関する規定」（平成4年1月16日・4特総第1801号）により、比較的早期の書類廃棄を前提とし、「特許庁の使用に係る磁気ディスク（光ディスク）に記録が完了するまで保存する。」としている。そこで、データエントリー業務の一部として指定情報処理機関に行わせるべき業務として、データエントリー電子化規準に記載されていない特許庁の使用に係る磁気ディスクへのイメージ記録方法等（申請人登録に関する書類を除く。）を本規定において定めるものとする。

2. 概要

紙申請書類をスキャナで入力し、イメージデータをCD-Rへ蓄積する。

3. 入力蓄積

(1) 入力原稿

イ) 処理の対象となる書面

- a. 紙申請書
- b. 添付書面
- c. その他

ロ) 入力原稿

- a. 入力原稿は、最大A3サイズまでのものとする。
- b. 入力原稿の状態が、製本やホッチキス止め等、複数枚の原稿を接着若しくは束ねた状態でないこと（発注原稿が、接着若しくは束ねた状態の場合は、前工程において外すものとする。）。
- c. 発注原稿を納めた受付袋には、以下の記述がある。
 - ・受付袋通番
 - ・受付番号付与範囲
 - ・手続数
 - ・発注番号+受付袋通番を表すバーコード（以下「受付袋通番バーコード」という）。
- d. 入力原稿の内、受付番号単位の入力原稿については、先頭頁に受付番号を表すバーコード（以下「受付番号バーコード」という。）が、添付されていること。
- e. 受付袋通番バーコードは、下記の書式である。

書面手続：9（固定）+発注番号（7桁）+受付袋通番（4桁）
- f. 受付番号バーコードは、下記の書式である。

書面手続：0（固定）+受付番号（11桁）

ハ) イメージ入力・編集

- a. 入力原稿が、A4の場合は、入力されたイメージを有効イメージ範囲とする。
- b. 入力原稿が、A4以外の場合は、有効イメージ範囲（必要なイメージの範囲）の切出しを行う。
 - ・有効イメージ範囲が、A4より、大きい場合は、縮小処理によりイメージサイズをA4とする。
 - ・有効イメージ範囲が、A4以下の場合は、原寸のままとする。この場合、上下左右中央

にイメージデータが配置されるよう余白部分に白ベタのイメージデータを付与し、A4サイズとする。

(2) 蓄積方式

イ) キーデータ

受付番号をキーデータとして、上昇順に記録する。

ロ) イメージデータ

線密度200dpiのイメージデータとする。

ハ) 蓄積媒体

データは、CD-R（書き込み可能なCD）に記録する。

ニ) 蓄積限界

a. 一枚のCD-Rに記録する範囲は発注番号単位で区切る。

b. CD-Rに記録されるインデックスデータ及びイメージデータの割当は、蓄積資料のデータ長に応じて可変とし、蓄積効率が全体として最適となるように調整する。

ホ) 暗号化

イメージデータは暗号化をする。

(3) データフォーマット 別紙1のとおり。

4. 業務処理フロー

(1) 書類区分入力

イ) 入力原稿の受付袋通番を指示する。

ロ) 受付袋内受付番号範囲・手続数を入力する。

ハ) 各受付袋の受付袋区分を入力する（通常・単件・併合）。

ニ) 各受付番号の書類区分及び枚数を入力する。

(2) イメージ入力・編集

イ) 入力原稿を添付書面、優先権証明書の順でスキャナ入力し、イメージデータを作成する。

ロ) 入力済みイメージデータの枚数と、書類区分入力で指示した原稿枚数とをチェックする。

ハ) 入力したデータを1頁ずつ画面表示し、入力ミス、曲がり、汚れ等が無いことを確認する。入力ミスがあった場合は、その場で再入力を行う。

ニ) 入力したイメージデータがA4以外の場合は、イメージ切出しを行う。

ホ) 入力・編集したイメージデータを「サーバWS」に転送する。

(3) オーサリング

イ) CD-Rに収録する発注番号の範囲を指定する。

ロ) (内部処理) 指定発注番号範囲の全イメージデータが存在することをチェックする。

ハ) 発注番号単位に、受付番号を検索するためのインデックスファイルを作成する。

ニ) 当該CD-Rに収録される全ファイルの容量をチェックし、一枚のCD-Rに収録できるかのチェックを行い、収録可能であれば、抄録ファイルを作成する。収録不可であれば、イ)の発注

番号範囲の指定からやり直す。

(4) CD-Rの作成

CD-Rの基本ボリューム記述子に記録するボリューム記述子情報を指定し、CD-Rへの書き込みを行い、CD-Rを作成する。

5. 工程別業務仕様

5. 1 書類区分入力

(1) 書類区分入力

イ) 発注番号・受付袋通番の入力

受付袋の表の受付袋通番バーコードより、発注番号・受付袋通番を入力する（キーボード入力も可）。

ロ) 受付番号情報入力

画面上に受付番号情報入力欄が表示されるので開始受付番号、終了受付番号、受付袋内手続数、受付袋区分（通常・単件・併合）の情報を入力する。

- ・既に入力された情報が存在する場合は、前回の入力内容を表示し、修正を可能とする。
- ・入力終了が指示された時点で、開始終了の受付番号と受付袋内手続数に整合性があることを確認する。
- ・受付袋区分のデフォルト値は、「通常」とする。

5. 2 イメージ入力・編集

(1) イメージ入力

イ) 業務選択

業務選択画面より「1. イメージ入力」を選択する。

ロ) 入力原稿をスキャナにセットした後、読み取りサイズを指示し、イメージ入力を指示する。

- ・原稿サイズは、デフォルトをA4とする。
- ・入力線密度は、200dpiとする。

ハ) 入力枚数のチェック

スキャナ入力終了すると、書類区分入力で指定した各書類の枚数と機械チェックが行われ、不一致が有る場合受付番号が指示される。

当該受付番号のイメージを画面に表示し、入力抜けがあった場合、スキャナから再入力を行う。

(2) イメージ編集

イ) 業務選択

業務選択画面より「2. イメージ編集」を選択する。

ロ) 受付番号の指定

書類に貼付されている受付番号バーコードより受付番号を入力し、当該受付番号のイメージ

を画面に表示する。

ハ)イメージの確認

- ・表示されたイメージに曲がり、汚れ等が無いことを確認する。
- ・曲がり、汚れ等がある場合、画面上で曲がり補正やゴミ取りを行う。

ニ)イメージ編集

A4以外の原稿の場合は、イメージ切出しを指示し、イメージの必要な範囲（有効イメージ範囲）を指示する。

（内部処理）有効イメージ範囲が指示された時点で、当該イメージがA4より大きい場合、「イメージを縮小します。よろしいですか？」のメッセージを表示する。

*OKの場合は、当該イメージを縮小し、A4サイズとする。

*NOの場合は、当該切出しを無効とする。

（内部処理）さらに、切出したイメージが、A4未満の場合は、切出したイメージがA4の中央（上下左右中央）にくるように、上下左右に白ベタのイメージを付加する。

ホ)受付番号単位の終了処理

当該受付番号のイメージ編集が終了した時点で、編集済みイメージをサーバWSに転送する。
なお、併合受付袋の場合、受付袋内全受付番号分のイメージファイルをコピーする。

5. 3 オーサリング

(1) オーサリングチェック

イ)業務の選択

業務選択画面より「1. オーサリングチェック」を選択する。

ロ)発注番号の指定

CD-R番号を入力し、発注番号の一覧よりオーサリング範囲の発注番号を指定する。

ハ)イメージファイルチェック

発注番号単位に、必要な受付番号のイメージファイルが存在するかをチェックする。

ニ)インデックスファイルの作成

当該発注番号内の受付番号を検索するためのインデックスファイルを作成する。

ホ)データ容量のチェック

指定の全発注番号のデータが、一枚のCD-Rに収納できるかを確認する。

(2) オーサリング実行

イ)業務の選択

業務選択画面より「2. オーサリング実行」を選択する。

ロ)CD-R番号の指定

オーサリングチェックが完了したCD-R番号を入力する。

ハ)抄録ファイルの作成

指定CD-R番号に収録する発注番号一覧を示す抄録ファイルを作成する。

5. 4 CD-Rの作成

(1) CD-Rの装てん

CD-R書き込み装置に、新しいCD-Rを装てんする。

(2) ボリューム記述子情報の入力

CD-Rの基本ボリューム記述子にセットする以下の項目を入力する。

- ・ボリューム識別子
- ・ボリューム集合識別子
- ・出版者識別子
- ・データ編集者識別子
- ・著作権ファイル識別子
- ・抄録ファイル識別子
- ・ボリューム作成日付及び時刻

(3) CD-Rの作成

CD-R書き込み装置から「書込み」を指示し、CD-Rにデータのレコーディングを行う。

(4) 納品リストの作成

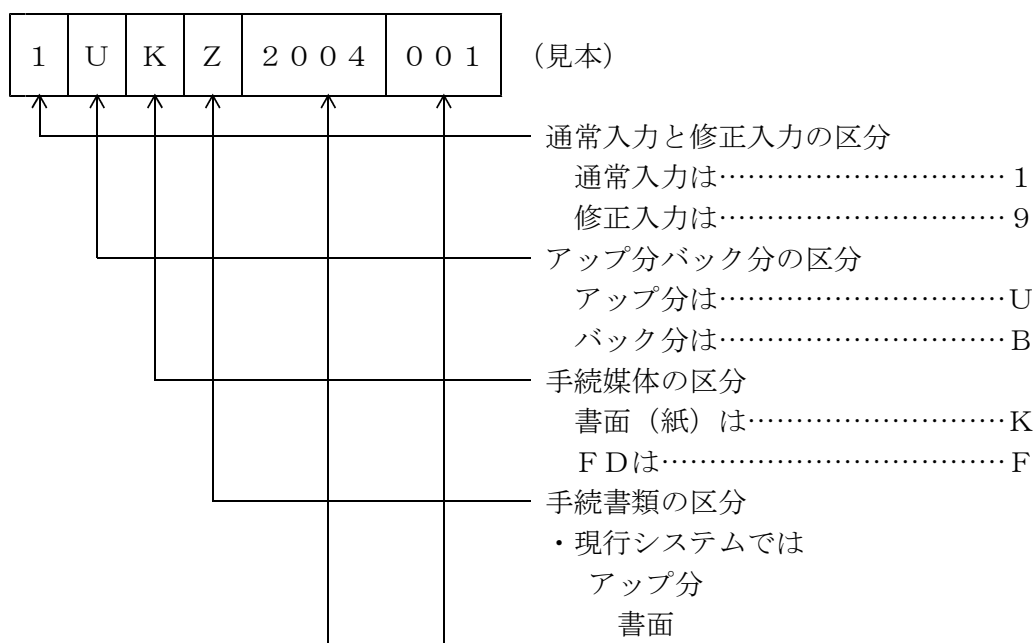
書き込みが完了したCD-Rから、発注番号一覧、受付番号一覧のリストを出力する。

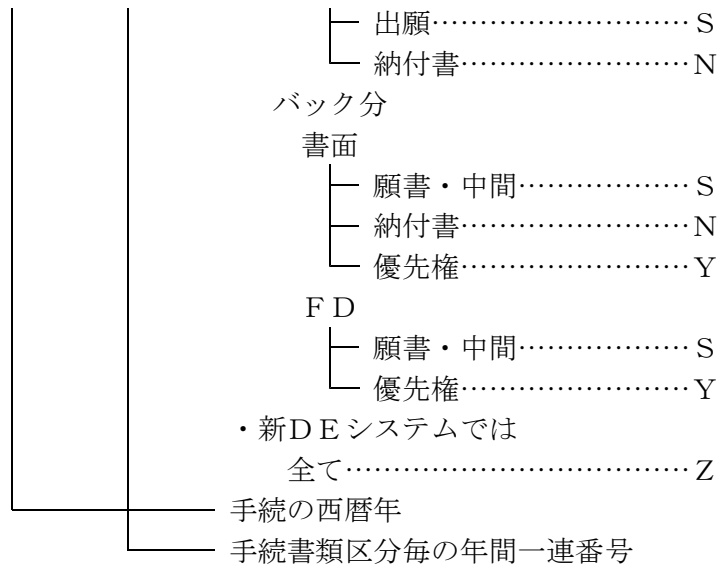
6. 納品

6. 1 ボリューム識別子（番号）の付与

納品のCD-Rのラベルには、ボリューム識別子（番号）及び蓄積データの範囲（発注番号）等を表示する。

ボリューム識別子（番号）の構成





6. 2 納品

(1) 納品物

- イ) CD-R [正・副] (ただし、副についてはプラスチックケースに収納)
- ロ) 各種リスト
 - ア. 納品明細書 (A 4) (別紙 2) 1 部
 - イ. 発注番号一覧表 (別紙 3) 1 部
 - ウ. 受付番号一覧表 (別紙 3) 1 部
- ハ) 図面代用写真及び参考写真の原本並びに物件提出書等 (返還の申出「有」に限る。)

(2) 納品サイクル

CD-Rが原則満杯(規定範囲内)となったときに納品するものとする。

7. 検収

検収は上記納品物について納品時に次の人的チェックを行う。

- (1) 納品日のチェック
- (2) 納品書の数量と納品物の照合
- (3) 蓄積媒体とラベル記載内容の照合
- (4) 蓄積データ一覧表とラベル内容の照合
- (5) プリントアウト見本のチェック

8. 誤蓄積データの修正

- (1) 誤蓄積データの修正

誤蓄積データは以下のとおりとし、誤蓄積データが発見された場合外注先は適正なデータを再入力する責任を負う。

- イ) データが記録されていない。
- ロ) 画像フレームが斜めになっている。
- ハ) 画像フレームが上下左右回転している。
- ニ) 線密度が指定されたものと異なる。
- ホ) 画像の濃淡が適正な形で入力されていない。
- ヘ) キー情報と画像データの内容が不一致である。
- ト) データが重複記録されている。
- フ) データ記録項目・順序が序指定と異なる。

(2) 蓄積方法

- イ) 正しいデータのみを収録する訂正CD-Rを作成する。
- ロ) 蓄積は受付番号単位（1件単位）とする。

9. その他

- (1) 本規準書に記載されていない事項等で不明な点があれば、速やかに序担当者に通知し、その指示を受けるものとする。

添付書面イメージCD-Rフォーマット

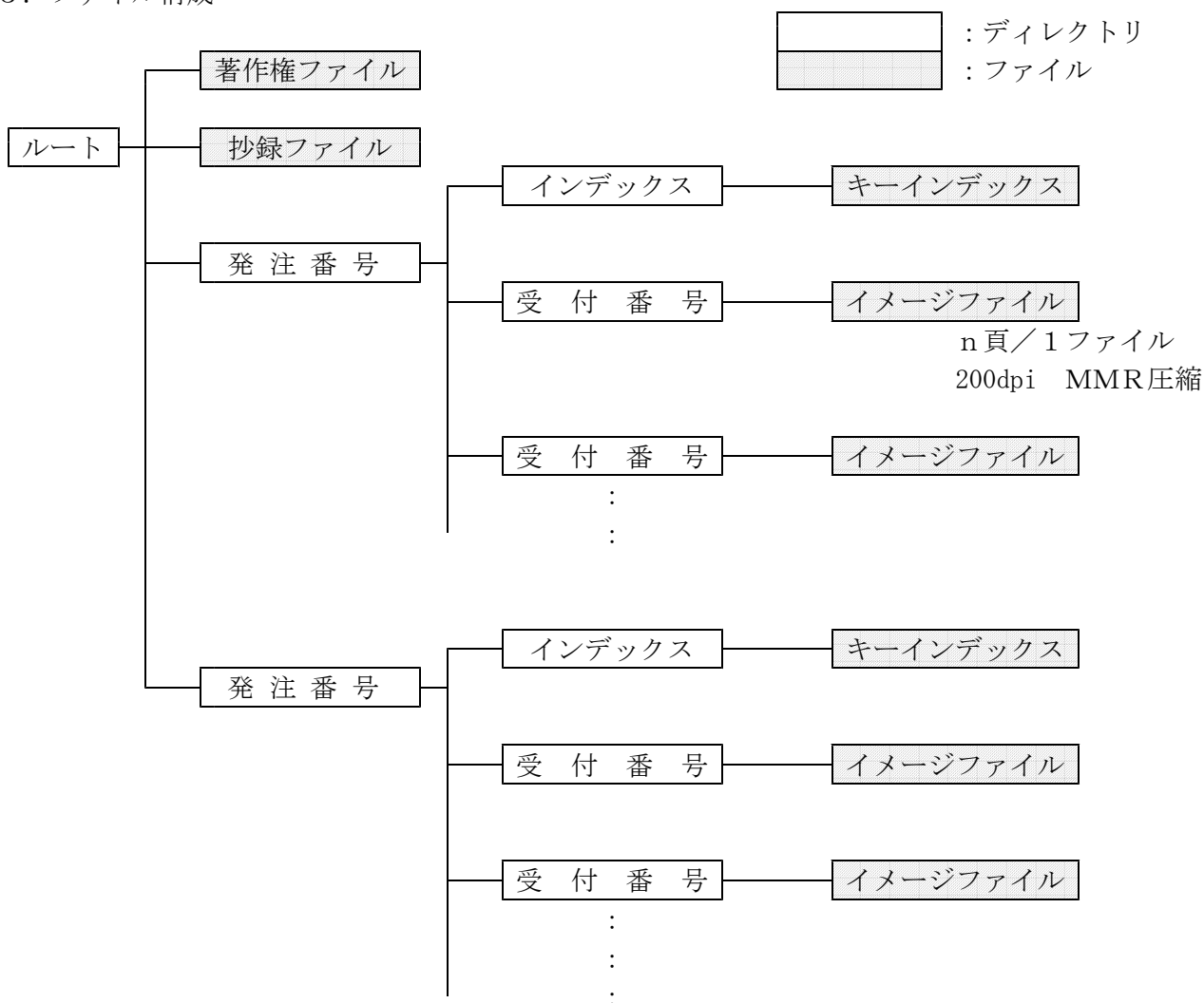
1. 物理フォーマット

物理フォーマットは「ISO/IEC 10149」に準拠（公報CD-ROMと同じ）

2. 論理フォーマット

論理フォーマットは「JIS X0606-1990」の情報交換の水準1に準拠（公報CD-ROMと同じ）

3. ファイル構成



4. 各ディレクトリ及びファイルの概要

(1) 著作権ファイル [COPYRIGHT.;1]

当該CD-Rの著作権について記録するファイル（内容はテキストデータ）

(2) 抄録ファイル [ABSTRACT.;1;]

当該CD-Rに収録した発注番号及び受付番号の範囲を記録するファイル（内容はテキストデータ）

(3) 発注番号ディレクトリ [例：195001]

発注単位のデータを記録するディレクトリ

(4) インデックスディレクトリ [INDEX]

検索用インデックスを記録するディレクトリ

(5) キーインデックスファイル [KEYINDEX.;1]

当該発注番号内で、イメージデータを収録した全受付番号を記録したファイル

(6) 受付番号ディレクトリ [例：00123]

受付番号単位のイメージファイルを記録するディレクトリ

(7) イメージファイル [例：00123.IMG;1]

イメージデータを記録するファイルで、TIFFに準拠

- ・ 1頁を1ファイルで構成
- ・ 200dpi 二値データ
- ・ MMR圧縮

5. 各ファイルの詳細

(1) 著作権ファイル

イ) 内容

CD-Rの著作権を記録する。

ロ) ファイルフォーマット

テキストファイル形式

ハ) 収録内容

文字列 “COPYRIGHT△(C)△JPO” を記録する。

(注) △はスペースを示す

(2) 抄録ファイル

イ) 内容

当該CD-Rに収録されている全発注番号を記録する。

ロ) ファイルフォーマット

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル形式

ハ)収録内容

N0	意味	長さ (バイト)	内容例
1	発注番号	6	195021
2	デリミタ	1	△
3	受付番号範囲	2 4	19502100001~19502101552
4	デリミタ	1	△
5	件数	6	001234
6	レコード、デリミタ	2	CR LF

上記データが、収録発注番号の数分繰り返される。

(3) キーインデックスファイル

イ)内容

当該発注番号内のイメージファイルが収録されている全受付番号を記録する。

ロ)ファイルフォーマット

制御文字CR LFをレコードデリミタとするテキストファイル形式

ハ)収録内容

N0	意味	長さ (バイト)	内容例
1	受付番号	1 1	19502100001
2	デリミタ	1	△
3	イメージ枚数	4	0012
4	レコード、デリミタ	2	CR LF

上記データが、収録受付番号の数分繰り返される。

(4) 線図イメージファイル

イメージデータを記録するファイルである。T I F F (Tag Image Format) に準拠する。

イ)イメージファイルの構成

- ・イメージファイルは、ヘッダ、ディレクトリ及びイメージデータで構成する。
- ・ヘッダはファイルの先頭に存在する。ディレクトリはヘッダに続けて連続して記録する。
- ・イメージデータはディレクトリに続けて連続して記録する。

イメージデータファイルの構成

ヘッダ	ディレクトリ	イメージデータ
-----	--------	---------

ロ)ヘッダフォーマット

ヘッダはファイルの先頭に位置し、内容は固定である。

N0	ヘッダ内 相対位置	意 味	長 さ (バイト)	デー タ タイプ	内 容
1	0-1	バイトオーダー	2	文字	I I
2	2-3	T I F Fバージョン番号	2	バイナリ	4 2
3	4-7	第一ディレクトリへのポインタ	4	バイナリ	8

h)ディレクトリ

ディレクトリはイメージデータの属性や、イメージデータの記録場所を指すポインタ値Nなどの情報を持つ。ディレクトリはヘッダの後ろから連続して記録する。

ディレクトリの構造

TAGの個数	2	バイト
TAG 1	1 2	バイト
TAG 2	1 2	バイト
.		
TAG n	1 2	バイト
次ディレクトリへのポインタ (次がなければ値 0)	4	バイト
TAGからポイントされるデータ		

TAGの構造

TAG・ID	2	バイト
データタイプ	2	バイト
単位数	4	バイト
TAGデータまたはポインタ	4	バイト

TAG先頭のTAG・IDは、このTAGが何の情報を表しているかを示す。データタイプは情報のデータの型を示し、以下のいずれかの値である。

- 値1： バイト
- 値2： 文字列（1バイトコード 文字列の最後のバイトは(0 0)₁₆）
- 値3： ショート（2バイト整数 最下位バイト先頭形式）
- 値4： ロング（4バイト整数 最下位バイト先頭形式）
- 値5： 有理数（ロングが2個で分子／分母を表す）

単位数はデータがいくつあるかを示す。単位数の次の4バイトにデータを記録する。ただし、4バイトでデータが記録出来ない場合には（例えばショート型のデータ2個は記録できるが3個は記録できない）、データを“次ディレクトリへのポインタ”領域以降に記録し、そこへのポインタ（ファイル先頭からのバイトオフセット）を単位数の次の4バイトのエリアに記録する。

ディレクトリフォーマット

意 味		長 さ (バイト)	デー タ タイ プ	内 容
TAGの個数		2	バイナリ	1 5
T	ID (NewSubfileType)	2	バイナリ	2 5 4
A	データタイプ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
1	データ	4	バイナリ	注1

意 味		長 さ (バイト)	データ タイプ	内 容
T	I D (ImageWidth)	2	バイナリ	2 5 6
A	データタイプ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
2	データ	4	バイナリ	注2
T	I D (ImageLength)	2	バイナリ	2 5 7
A	データタイプ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
3	データ	4	バイナリ	注3
T	I D (BitsPerSample)	2	バイナリ	2 5 8
A	データタイプ (ショート)	2	バイナリ	3
G	単位数	4	バイナリ	1
	データ	2	バイナリ	1
4	空き	2	バイナリ	0
T	I D (Compression)	2	バイナリ	2 5 9
A	データタイプ (ショート)	2	バイナリ	3
G	単位数	4	バイナリ	1
	データ	2	バイナリ	4
5	空き	2	バイナリ	0
T	I D (PhotometricInterpretation)	2	バイナリ	2 6 2
A	データタイプ (ショート)	2	バイナリ	3
G	単位数	4	バイナリ	1
	データ	2	バイナリ	0
6	空き	2	バイナリ	0
T	I D (DocumentName)	2	バイナリ	2 6 9
A	データタイプ (文字)	2	バイナリ	2
G	単位数	4	バイナリ	1 2
7	データ	4	バイナリ	注4
T	I D (ImageDescription)	2	バイナリ	2 7 0
A	データタイプ (文字)	2	バイナリ	2
G	単位数	4	バイナリ	6
8	データ	4	バイナリ	注5
T	I D (StripOffset)	2	バイナリ	2 7 3
A	データタイプ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
9	データ	4	バイナリ	注6
T	I D (SamplePerPixel)	2	バイナリ	2 7 7
A	データタイプ (ショート)	2	バイナリ	3
G	単位数	4	バイナリ	1
	データ	2	バイナリ	1
10	空き	2	バイナリ	0

意 味		長 さ (バイト)	デー タ タイ プ	内 容
T	I D (RowsPerStrip)	2	バイナリ	2 7 8
A	デー タタイ プ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
11	デー タ	4	バイナリ	注3
T	I D (StripByteCount)	2	バイナリ	2 7 9
A	デー タタイ プ (ロング)	2	バイナリ	4
G	単位数	4	バイナリ	1
12	デー タ	4	バイナリ	注7
T	I D (XResolution)	2	バイナリ	2 8 2
A	デー タタイ プ (有理数)	2	バイナリ	5
G	単位数	4	バイナリ	1
13	デー タ	4	バイナリ	注8
T	I D (YResolution)	2	バイナリ	2 8 3
A	デー タタイ プ (有理数)	2	バイナリ	5
G	単位数	4	バイナリ	1
14	デー タ	4	バイナリ	注9
T	I D (ResolutionUnit)	2	バイナリ	2 9 6
A	デー タタイ プ (ショート)	2	バイナリ	3
G	単位数	4	バイナリ	1
	デー タ	2	バイナリ	2
15	空き	2	バイナリ	0
	次ディレクトリへのポインタ	4	バイナリ	注10
	文献番号 (受付番号)	1 2	文 字	注11
	イメージデータの I D (ページ番号)	6	文 字	注12
	X方向解像度 分子	4	バイナリ	2 0 0
	X方向解像度 分母	4	バイナリ	1
	Y方向解像度 分子	4	バイナリ	2 0 0
	Y方向解像度 分母	4	バイナリ	1

(注1) イメージデータのタイプを記録する。
値0：200dpiのイメージデータを示す。

(注2) X (水平) 方向のピクセル数を記録する。ピクセル数は、16の倍数とする。

(注3) Y (垂直) 方向のピクセル数を記録する。

(注4) 文献番号 (受付番号) へのポインタ値を記録する。

(注5) イメージデータの I D (ページ番号) へのポインタ値を記録する。

(注6) イメージデータへのポインタ値を記録する。

- (注7) イメージデータのバイト数を記録する。
- (注8) X方向解像度へのポインタ値を記録する。
- (注9) Y方向解像度へのポインタ値を記録する。
- (注10) 次ディレクトリへのポインタ値を記録する。
このディレクトリが最後のディレクトリの場合は、値0を記録する。
- (注11) 文献番号（受付番号）を記録する。
例：199700100123 (00)₁₆
- (注12) イメージデータのID（ページ番号）を記録する。
例：00001 (00)₁₆

ニ) イメージデータ

- a. データ種別
二値イメージとする。
- b. 画素密度（解像度）
200 dpi とする。
- c. 符号化方式
『CCITT勧告 T. 6 ベーシックファクシミリ符号化方式（二次元圧縮方式）』を用いる。

納品明細書		
平成	年	月
		日
		担 当
1	納 品 物 品 名	CD-R
2	納 品 物 件	
	(1) ボリューム識別子	
	(2) 手 続 数	
備 考		
		特許庁殿受領印

*** 発注番号一覧表 ***ボリューム識別子：XXXXXX 年 月 日					
NO	発注番号	開始受付番号	終了受付番号	手続数	ページ数
XXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXXXX
XXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXXXX
<計>				XXXXXX	XXXXXXXX

(注) ・ 1 頁は計 5 5 件記載する。

*** 受付番号一覧表 ***ボリューム識別子：XXXXXX 年 月 日								
NO	受付番号	ページ数	NO	受付番号	ページ数	NO	受付番号	ページ数
XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX	XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX	XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX
XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX	XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX	XXX	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXX
							(計)	XXXXXXXX

(注) ・ 1 頁は 3 段組で計 1 6 5 件記載する。

ボリューム識別子（番号）の構成

